

施設概要及び検討状況の報告 (漫画ミュージアム)

漫画ミュージアムの概要



- 博物館機能と図書館機能を併せ持ち、「見る」・「読む」・「描く」の3方向から漫画の魅力を体験でき総合的な漫画施設

施設概要

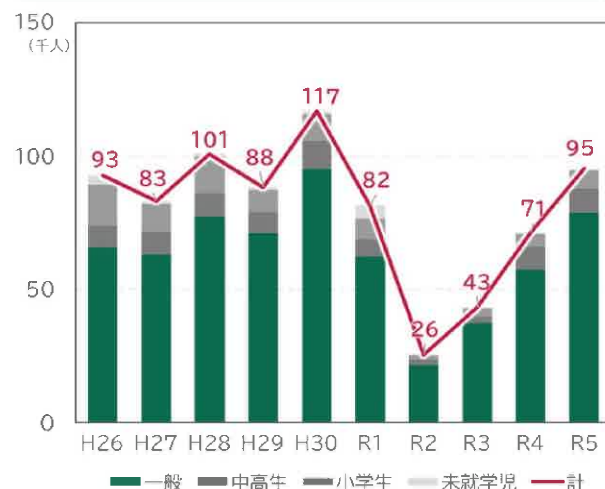
項目	内容
設置目的	北九州ゆかりの漫画家とその作品を次の世代に伝え、漫画文化の特性や魅力を発信することを目的に開館。漫画原画や資料を収集・保存・展示する博物館機能と、幅広いジャンルの漫画図書を閲覧できる図書館機能を併せ持ち、漫画に関する人材育成と漫画を通じた交流の場を提供することを目的とする。
所在地	小倉北区浅野2丁目14-5 あるあるCity5, 6階
開館時間	11:00~19:00 (火曜日、年末年始は休館)
開設時期	平成24年8月

理念

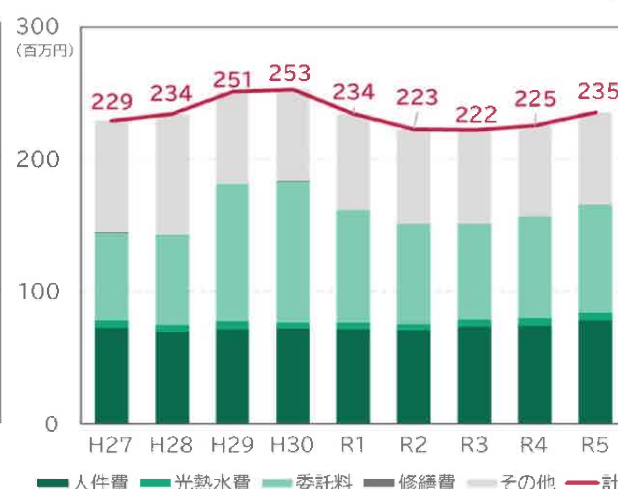
漫画文化を次世代へ伝える漫画の博物館

- 1 原画等の資料の収集・保存・研究
- 2 【見る】 研究成果を活かした常設展示や自主企画展、集客に寄与する巡回展示
- 3 【読む】 幅広い年代・ジャンル、7万冊の漫画本を読める閲覧事業
- 4 【描く】 ワークショップ・アウトリーチを通じた、人材 育成、教育・普及事業

入館者の推移



維持管理費の推移



その他

- 漫画原画の散逸や海外への流出が課題となる中、収集・保存に取り組む施設は全国で4施設。今後、収蔵資料の利活用を強化していく。
- 入館者は年間8~10万人を推移し、近年は、海外を含む教育機関や近隣の福祉施設等の団体視察が増加している。

漫画ミュージアムの主な問題意識

	ソフト(展示・コンテンツ)	ハード(施設)	資源(予算・人員)・他
短期 年度内	①アンケート調査は企画展のみで実施しているため、常設展に関するユーザーの満足度やニーズの把握が不十分 ②漫画メディアは、絵と文章を組み合わせ楽しむという特性を踏まえつつ、インバウンド顧客のニーズへの更なる対応が必要	①禁止表示が多いため、ユーザーにとって、明るい雰囲気や気分を損なう懸念がある ②大量のチラシ・ポスターが未分類のまま随所に設置・掲示されているため、美観を損ない、ユーザーに対する情報提供も十分に機能していない	
中期 3-5年	①若年層やインバウンド層にリーチし、更なる来館を促すため、最新の市場動向やニーズに連動した企画・広報の強化が必要	①民間施設にテナントとして入居しているため、路上標識等のコントロールが難しく、分かりやすい来館経路の案内が難しい ②常設展のデジタル機器が耐用年数を超えているため、計画的な更新・リニューアルが必要	①漫画分野の学芸員は、全国的に少なく、当館は正規職員が1名であるため、人事異動が難しい
長期 5-10年	①漫画にフォーカスした施設であり、アニメやゲームなどへの展開が十分でないため、あるあるcityに立地していることを活かしたシナジー強化策が必要 ②電子メディアが主軸になる中、収集や展示・閲覧の方法も変化に対応した見直しが必要	①あるあるcityは民間施設であるため、市による老朽化対策は不要であるが、館内設備については、市による計画的な老朽化対策が必要 ②今後も物故作家から原画寄託受け入れる必要があるが、収蔵庫の容量が不足している	①地元作家の原画を14万枚以上、寄託収蔵しているが、企画展準備などの業務の負荷が高いため、現状の学芸員3名(正規1名・非正規2名)では整理が難しく、ユーザー満足度の更なる向上に向けた利活用が十分にできていない



概況

【短期】 ユーザーニーズの把握やユーザーがコンテンツを楽しむ環境整備が不十分
【中期】 若年層やインバウンド層の来館を促すための企画・広報力不足
【長期】 サブカルを中心とする民間施設に立地していることを活かした運営が必要

利用者満足度ヒアリング調査結果

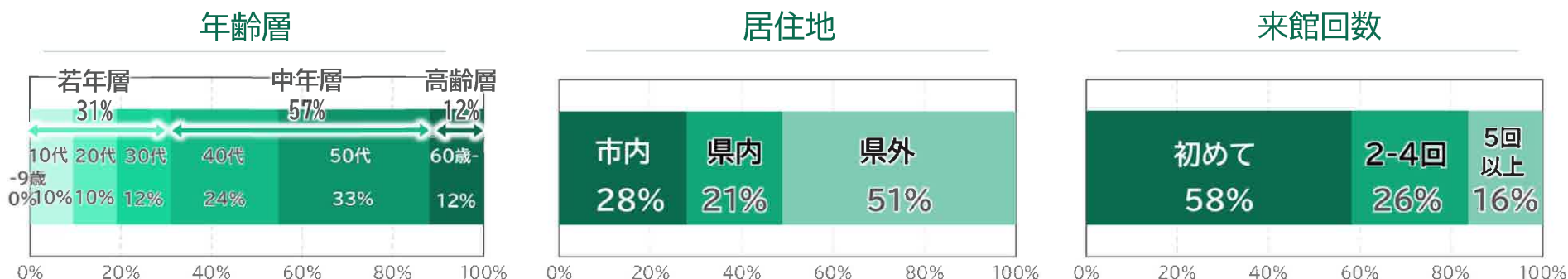
【北九州市漫画ミュージアム】

- 初来館とリピートが同程度であることを踏まえ、ユーザーの意見を常に取り入れられる体制の整備と継続的な施設改善が必要
- 更なる来館者獲得に向けて、若年層や海外からの来館を増やすため、ニーズに合った展示の工夫や企画・広報に取り組む

実施概要

○ 日時：2024年8月8日（木）14時～18時
○ 回答：43人

○ 方法：ワーキングメンバーによるヒアリング
（常設展示エリア）



満足している点

- 閲覧ゾーンで何を読んでよいか分からない時に特集コーナーがあって良かった
- 蔵書の質、内容、量が良い
- 年代ごとの漫画の紹介が良かった
- 市外から来る人にとって常設展示は重要なので残してほしい（松本零士コーナー等）
- スタッフの説明・対応が良かった

改善してほしい点

- 写真が撮れる場所を増やしてほしい
- フォトコーナーと漫画を読む席との距離が近い
- 目当ての本に辿りつくまでに時間がかかる
- 閲覧ゾーンの検索機の種類・結果表示が分かりづらい
- 閲覧ゾーンの椅子（固さ、数、種類）

漫画ミュージアムの他都市類似館比較

※ 入場者数・支出・収入…R4時点
※ 職員数…R6.4.1時点（館長除く）

appendix

- 博物館機能、図書館機能、原画収蔵機能を併せ持ち、漫画を総合的に扱う施設は国内で4施設のみ
- 指定管理者制度導入済みの他都市類似館と比較した場合、入場者1人あたりの行政の負担額は高い（2.4千円）

施設名		北九州市 漫画ミュージアム	横手市増田 まんが美術館	明治大学米沢嘉博記念図 書館現代マンガ図書館	京都国際マンガ ミュージアム
人口（R5.10.1）		914,620	約80,000	約70,000	約1,460,000
運営主体		直営	指定管理	大学	大学＋市
展示面積（㎡） （学芸員1人あたり）		1,420 （473）	3,363 （1,682）	60 （60）	860 （287）
収蔵品数（件） （学芸員1人あたり）		164,000 （54,666）	490,000 （245,000）	361,870 （361,870）	300,000 （100,000）
開架図書数（件） （学芸員1人あたり）		56,000 （18,667）	25,000 （12,500）	4,348 （4,348）	50,000 （16,667）
入場者数（人）【A】		71,325	94,078	非公表	187,273
職員 数 （人）	事務職	6	26	2	5
	学芸員/司書	3/2	2/0	1/5	3 ※大学からの兼務＋2/2
支出（千円）【B】		224,994	114,665	非公表	非公表
収入（千円）【C】		50,813	24,653		
入場者1人あたりの 負担額【B-C】÷【A】（千円）		2.4	1.0		
各機能	原画保存	◎	◎	△	○
	漫画（図書）	○	△	◎ ※開架図書が多数	◎
	展示機能	◎	◎	○	◎
	体験機能	○	○	×	◎
	人材育成	○	△	△	○

横手市増田まんが美術館と支出内容を統一した場合約1.7

出所）R6北九州市聞き取り調査より（支出・収入は行政帰属分、支出は北九州市独自単価で直営人件費を加算）

漫画ミュージアムの今後の方向性① ※第1回運営検討部会資料抜粋

- 基本方針やコンセプトに加え、文化芸術基本法の一部改正や基本構想・基本計画、文化芸術推進プラン、市政変革等を踏まえ、今後の方向性を検討

基本方針

漫画文化を活かした文化振興の推進

- ① 地元ゆかりの漫画家を中心に、幅広く漫画作品と関連資料を収集・保存し、漫画の特性や魅力をどのように伝えていくか等を研究。
- ② 研究成果を展示や閲覧等に活かし、漫画の持つ魅力や特性を次世代に伝えるという文化振興の一翼を担うという使命。
- ③ 子どもから大人まで、幅広い世代が集う場所となることによって、まちの個性づくり、魅力づくり、賑わいの創出に寄与。

描く！
アシスタント体験
ワークショップ



コンセプト（3つの柱）

① 見る（展示機能）

【企画展示】
漫画やアニメなどのオリジナル展示や全国巡回展
【常設展示】
漫画のしくみや歴史、松本零士の生い立ちと業績、北九州ゆかりの作家の紹介と収蔵作品展示

② 読む（閲覧機能）

過去の作品から現代の作品まで約7万冊の漫画単行本を閲覧できるコーナー「閲覧ゾーン」

③ 描く（創造・育成・交流機能）

漫画スクール、漫画体験など各種イベントを開催

漫画ミュージアムの今後の方向性② ※第1回運営検討部会資料抜粋

- 基本方針やコンセプトに加え、文化芸術基本法の一部改正や基本構想・基本計画、文化芸術推進プラン、市政変革等を踏まえ、今後の方向性を検討

① 文化芸術基本法の一部改正（平成29年6月施行）

○第2条第10項

「文化芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならない」など

② 北九州市基本構想・基本計画

（令和6年3月策定）

○「稼げる街」の実現

北九州市が有する…様々な魅力に関する情報を全国の人たちに届け…北九州市を訪れて…体験していただく取組

○市政変革による基盤づくり

短中期には「財政の模様替え」を進め

中長期には持続可能な行財政状況の確保

③ 北九州市文化芸術推進プランの視点

（令和7年4月1日～令和12年3月31日）

多世代が興味を寄せるコンテンツを活用した、発信力や集客力の高い文化芸術の取組を充実させるとともに、地域の魅力的な資源を活用した文化観光を推進し、都市ブランドを輝かせることで、まちへの期待と注目を集め、多様な人を惹きつけ、地域経済の好循環を生み出していきます。

④ 市政変革

【ユーザー目線の運営改善】

ユーザー目線による施設改善に取り組むため、ワーキングチームを設置し、スピード感をもって、

ユーザーニーズ把握方法の見直しや具体的改善に着手。

【変革案】

施設管理、広報等の事務部門への民間活力導入や経営的視点の導入等を図る。



漫画ミュージアムの今後の方向性（当初案）

- より多様なユーザーのニーズに応じて魅力を向上させる
- 地域社会での連携を強化し、文化観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等に貢献する
- 持続可能な行財政に対応する収益体制を中長期的に構築する

SWOT分析

※第1回運営検討部会資料抜粋

漫画ミュージアムの現状分析



内部環境

強み

- 幅広いゆかり作家からの支援・協力
- 市運営による公益性と、専門的人員（学芸員・図書担当）による学術的な公正性に根ざした、コンテンツホルダーや国事業との信頼関係
- 海外機関や市内教育機関との連携
- 安定した入館者数

弱み

- 市予算の不足および遞減
- 専門的人員が年限付きの非正規雇用で制度的持続性がない
- 実施事業に比して人員が不足
- 施設・設備が老朽化、駐車場無し
- 収蔵庫、多言語対応、視聴覚展示、体感展示、フォトスポットが不十分

機会

- マンガ業界の隆盛と、コンテンツ産業振興への国政府の期待
- マンガ展示業界の飛躍的な成長
- マンガ資料ナショナルアーカイブ事業の本格始動
- インバウンド観光需要の回復
- 文化・教育的な需要の高まり

強み × 機会

- マンガ業界と連携し文化的公益性と商業性を兼ね備えた企画を立案
- ナショナルアーカイブ事業に参画しての資料収蔵と利活用の促進
- 教育普及機能の強化による常設展への教育・研修来館の強化
- 海外機関との連携による国際発信

弱み × 機会

- 人員の不足と流動性が中長期的視野での連携促進を阻害
- アニメやゲームに適合するメディアミックス展示や、インバウンド観光誘致、団体受け入れが不十分
- 資料収蔵と利活用の設備と人員の不足でアーカイブが不十分

脅威

- マンガ資料の国内外への散逸・流出の懸念の増大
- 物価の高騰（特に施工費と輸送費で顕著）
- 市内に専門業者が不足し業者選定など委託発注事務が煩雑
- 福岡市エリアとの企画展誘致競争

強み × 脅威

- 専門的人員（学芸員・図書担当）によるオリジナル企画の強化
- ナショナルアーカイブ事業への参画によるマンガ資料保全への貢献と、それに伴う外部資金の獲得
- 施工費や輸送費を効率的に発注する仕組みづくり

弱み × 脅威

- 専門的人員流出の危険性
- 専門的人員の不安定性が企画力強化や外部資金獲得を阻害
- 設備と人員の不足で資料の散逸・流出を防止できない危険性
- 事務人員の不足と事務煩雑化が発注の効率化や広報力の強化を阻害

外部環境

第1回運営検討部会の検討を踏まえた漫画ミュージアムの今後の方向性

今後の方向性当初案への検討結果まとめ

- より多様なユーザーのニーズに応じて魅力を向上させる
⇒よりターゲット層を意識して、ターゲット層のニーズを明確化して、やるべきことを考えていく方が重要という方向性が見えた。
- 地域社会での連携を強化し、文化観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等に貢献する
⇒分野を広げすぎている。コミュニティのハブになる、コミュニケーションの交流の場になる、趣味で繋がる交流の場になるようなこと。これらは利用者の積極的な参加も促すことになる。
閲覧コーナーのレコメンドを利用者に何か書いてもらうなど様々なやり方がある。
地域社会の連携を強化して、総花的にではなく、絞って市民の交流の場になれるような形を積極的に検討する。
- 持続可能な行財政に対応する収益体制を中長期的に構築する
⇒基本的にはこの形でよいが、作家など著作権者と長いスパンで信頼関係を構築し、維持するために、学芸図書等の専門的人材の体制を安定させる。
人材が非常に大切であり、働く人全員がいかに安心して、自分の力を発揮できるか、もしくは力以上のものを発揮できるか。そのような環境を作ることが、収益体制や面白いことをやることに繋がってくる。



第1回運営検討部会の検討を踏まえた漫画ミュージアムの今後の方向性

- 各ターゲット層のニーズを明確化して魅力的なアプローチを提供する
- 求められる多様な役割を果たしつつ、漫画で繋がるコミュニケーションの場の形成に努め、参加性・体験性を高めることで、地域社会での連携を強化していく。
- 就業環境の安定化により対外的な信頼関係を維持して企画力を向上させ、行財政に対応する収益体制を中長期的に構築する

漫画ミュージアムの今後の方向性についての主な意見

1. 漫画ミュージアムの今後の方向性についての主な意見

運営方針関連	運営手法関連	人材関連	コンテンツ・機能関連
漫画ミュージアムは、何が価値なのか、差別化できる部分は何かを考えるべき。期待されていることは、市民の誇りになる施設。漫画は幅広く皆が好きで来れる施設。	市予算でやる部分と、館としての収入でやる部分の比率をどう考えていくのか議論が必要。	学芸と図書担当が一体となって信頼関係を構築しているため、図書職員も優先確保したい。	特に地元作家の企画展は注目度が高い。作品は有名でも展覧会を見に来るかは別問題。バズったりグッズが売れるのは、30代40代の女性層。学生等との連携も重要。
漫画へのアプローチが変化し、若い世代はスマホで読んでいるなど、取り巻く環境は変化しており、基本コンセプトの見直しも必要ではないか。	同じ人間が長期的にいて運営できることが指定管理の最大のメリット。こういう仕事は、漫画家、出版社、いろいろな施設の方々との繋がりが一番重要。役所といい関係を作り、人との繋がりを保ち広げていくところが指定管理の一番いい点。		過去の名作にどういう意図や動機で触れたくなるか、ということを考え、提供する工夫が必要。
民間に変わることで、制約がなくなって進めやすくなる点はメリット。リソースも限られているため、メインでやることを絞るなど優先順位が必要。長中期的、短期的な戦略が必要。		人が館そのもの、そして館が人そのもの。能力を発揮できたり、外からきちんと注目をされるような戦略が必要。	企画展は期間中に広報されているが、常設展の広報は少ないため、常設でどういう漫画があるかを次世代に伝える工夫が必要。レコメンド機能の活用も手段の一つ。
	指定管理で単に安いところでは市の信頼にも関わってくる。競争でもプロポーザルがあって内容を慎重に吟味して選ぶプロセスは絶対に必要。作家と信頼関係を継続できるところでないと難しい。		視聴覚的な体感展示やコメントを書ける場所を設置することで、コミュニケーションと展示の機能を両立可能。趣味嗜好が細分化されているため、様々なカテゴリーのコミュニティ、交流の場になる必要がある。
			国のナショナルアーカイブ事業の中で北九州市は大きな役割を期待されており、機能の継続は大変重要。

2. 今後の方向性当初案への検討結果まとめ

- ①よりターゲット層を意識して、ターゲット層のニーズを明確化して、やるべきことを考えていくことの方が重要という方向性が見えた。
- ②分野を広げすぎている。コミュニティのハブや趣味で繋がる交流の場になるようなことが必要。これらは利用者の方の積極的な参加も促すことになる。地域社会の連携を強化して、総花的にではなく、絞って市民の交流の場になれるような形を積極的に検討する。
- ③作家など著作権者と長いスパンで信頼関係を構築し、維持するために、学芸図書等の専門的人材の体制を安定させることが大事。人材が非常に大切であり、働く人全員がいかに安心して力を発揮できる環境を作ることが、収益体制や面白いことをやることに繋がってくる。

3. 次回以降検討の方向性

- ①他都市事例と手法検証、②運営形態別のメリット・デメリット比較、③検討課題と対応策、④その他論点整理